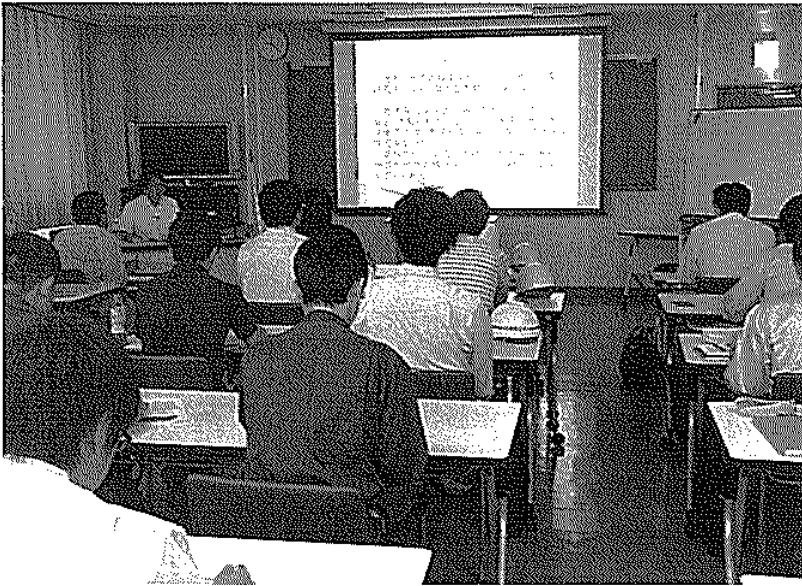


建設一
ぎセン
ちセ
と技

土質調査法で研修 県地質調査業協会が協賛

とちぎ建設技術センター
（加藤陽理事長）は先
月30日、宇都宮市竹林町
の同センター施設で「土



30人が参加した研修の様子

質調査法とその活用」研
修を開催。県や市町職員
のほか、設計・測量系企
業の技術者など30人が参
加した。同研修には、県
地質調査業協会（山口文
芳会長）が協賛しており、
会員企業の社員が講師を
務めた。

オリエンテーションが
行われた後、午前の部で
は芙蓉地質の畑中孝明氏
が「栃木県の地形と地質
の概要」、富貴沢建設コ
ンサルタツツの小口一文
氏が「各種土質調査法と
調査結果の設計への活用
法」について、資料を基
にわかりやすい講義を行

った。

午後の部では、パスキ
ン工業の松島秀樹氏、福
原地質基礎の横山隆男
氏、中央土木工学研究所
の佐藤高信氏が、機械ボ
ーリングやシンウオール
サンプリングの実践等を
指導。フジタ地質の羽石
一則氏、第一測工の福田
二三也氏、宇都宮土建工
業の国府田史宣氏は、ボ
ーリング柱状図や土質標
本、コア等の活用方法に
ついて、基本的かつ実践
的な技術の習得をサポ
ートした。

長時間にわたる研修と
なったが、参加者は各セ
クシヨンのポイントや業
務上の注意点などを詳細
にメモするなど、熱心に
受講していた。